

氏名	高橋 祥子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3304 号
学位授与の日付	平成19年3月23日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	A prospective study of clinical symptoms and skin test reactions in medical students exposed to formaldehyde gas (ホルムアルデヒドガスに曝露された医学生における臨床症状と皮膚試験反応についての前向き研究)
--------	--

論文審査委員	教授 西崎 和則 教授 荻野 景規 助教授 田中 弘之
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

空気中のホルムアルデヒド曝露による臨床症状とパッチテスト結果の間に病因的な関連があるかどうかについて、また曝露による長期的な影響についてはいまだ報告がない。143名の医学生に人体解剖学実習課程の初めと終わりの2回アンケート調査を施行し、うち60名にホルムアルデヒドのパッチテストを施行した。また、2～4年前に実習課程を終えている、別の医学生76名にアンケート調査をし、うち58名にパッチテストを施行した。実習室内のホルムアルデヒド濃度は 2.12 ± 0.23 ppmで、医学生の曝露濃度は 2.40 ± 0.49 ppmであった。繰り返し曝露されることによって、大多数の学生が様々な非アレルギー性の身体症状を訴え、その後の合併症なしに症状は消失した。60名のうち2人のみで課程修了後にパッチテストが陽転した。アトピー性皮膚炎とアレルギー性鼻炎を持つ学生は、持たない学生より、それぞれ皮膚症状と鼻の症状を明らかに多く訴えたことから、ホルムアルデヒドガスの影響を受けやすく、これらの症状は弱ったバリア機能や皮膚や粘膜のリモデリングによるものであらうと考えた。化学物質過敏症は見られなかった。

論文審査結果の要旨

空気中のホルムアルデヒド曝露による臨床症状とパッチテスト結果の間に病因的な関連があるか否か、また曝露による長期的な影響について、ホルムアルデヒドガスに曝露された医学生における臨床症状と皮膚試験反応から検討した、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。